



# 立て心よ 行け私よ

No.12

文責:齊藤 正一

## 3学期スタート 自分事としてやり通すと決めたこと

### 【3学期始業式:校長先生のお話より】

新しい年を迎えましたので新年の挨拶をしたいと思います。

「新年 あけましておめでとうございます」

雪も少なく、元日には輝かしい初日の出を拝むことができたお正月となりました。皆さんはどんなお正月でしたか。短い期間でしたが、きっと楽しい思い出ができたことと思います。私は皆さんがケガや事故もなく元気で登校してくれたことを本当にうれしく思います。

本年、墨坂中学校の生徒の皆さんと先生方、そしてそれぞれのご家族の皆さんが健康ですばらしい一年になることを祈っています。



さて、今日から3学期が始まります。47日しかありません。とても短い学期です。しかし、3学期は、とても大切な学期です。なぜでしょう？

1つ目は1年間の学習や生活のまとめの学期だからです。2つ目は卒業・進級につながる学期だからです。3つ目は来年度に向けて準備の学期だからです。

先ほど、各学年の3名の皆さんが代表で3学期や今年に向けての決意を述べてくれました。自分の目標について発表してくれました。また、聞いていた皆さんもきっと自分と重ねて真剣に聞いてくれたことと思います。

1年生、2年生、3年生、それぞれに、自分の生活を振り返ることからでてきた確かな目標ですね。素晴らしいです。きっと

皆さんも、2023年 令和5年の年頭にあたり、それぞれ新年の誓いを立てたことでしょう。ぜひ、それに向けて具体的に動いてください。

さて、2年前の生徒会誌「松風」に記したことをお話しします。3年生が1年生の時の生徒会誌ですので、3年生は読んでくれて覚えている人もいるかとは思いますが、改めて聞いてください。

皆さんはこの写真はどこの何かはわかりますか？ヒントは真ん中にある最澄です。





平安時代に最澄が開山した比叡山延暦寺とのお寺の根本中堂にある「不滅の法灯」と呼ばれる火です。

延暦寺は今から千二百年以上も前に建てられました。そこには、当時からずっと大切に守られている宝があります。それがこの「火」です。ただの「火」ではありません。最澄が修行の時に焚いていた火が、千二百年以上経った今でも消えずに守られているのです。

この不滅の法灯は比叡山で修行した最澄が788年、自ら作った薬師如来の仏像に灯明を供えたのが始まりとされます。今も延暦寺の根本中堂に置かれた六角柱の灯籠の中で、菜種油に浸した灯心の火がともし続けています。

燃料の菜種油が終わりそうになると注ぎ足し、芯が燃え尽きそうになると、新しい芯に交換しながら、灯籠内で燃え続けています。ですので、「不滅の法灯」と呼ばれています。そんなに長い間燃やし続けてこられたということは、その時々にお寺でお勤めをされてきた僧侶たちの中で、火の係を決めて守ってきたのかということ、そうではないようなのです。役割分担をすると、決めたとたんに誰かの仕事になってしまい、「自分はやらなくていいんだ」という甘えの心ができて、他人事になってしまうからです。ですから、そのお寺の火は、誰の役割というのではなく、気づいた人が油を足す、気づいた人が芯を替えることで守り通してきたのだそうです。油が切れたら、火は消えます。それは僧侶たちの心の中に怠けること、或いは他のことに気持ちが行ってしまふ迷いがあるということなのです。自分の事として考えていかないと大切な宝を失ってしまうこととなります。

この「不滅の法灯」から、私たちの生き方への示唆があります。それは一度やると決めたことをやり通すことや自分事として物事をとらえ実践し続けることの尊さと難しさです。ちなみに「油断」という言葉があります。この言葉は延暦寺のこの火を守ることから来たとも言われています。

1、2年生はこれから墨坂中学の表舞台に立っていきます。3年生は進路決定に向かいます。年の初めにあたり、みなさんは「自分事としてやり通すと決めたこと」は何ですか？この「不滅の法灯」も墨坂中学校の学校教育目標である「立て心よ 行け私よ」に通じるものであり、まさにそのものだと思います。ぜひ、皆さん一人一人が心に誓ったことを「油断」なきよう、やり遂げていくことを期待します。

自分事としてやり通すと決めたこと

校訓 強く 賢く 共育ち

学校教育目標 **立て心よ 行け私よ**

めざす生徒の姿  
 自律に向け、心を立て行動をおこすことができる生徒  
 主体的に学習に取り組み、粘り強く追究できる生徒  
 心も体もたくましく、賢く誠実に生活できる生徒  
 自分を厳しくみつめ、他を思いやり、共育ちできる生徒

## 学校評価アンケート、83.5パーセントのご回答ありがとうございました

学校評価について保護者の皆様からアンケートにご回答いただきました。その集計結果を次ページ以降にまとめましたのでご一読下さい。墨坂中学校のグランドデザインでお示した【評価指標】(墨坂中として育成する資質・能力「問題解決力」「他者関係力」「自己更新力」の達成度合を見る上で目標として設定した数値)を考察の中に入れました。

また質問・要望につきましては学校職員全体で共有すると共に、保護者の皆様の気持ちに寄り添えるように努力して参ります。

## 令和4年度 学校評価保護者アンケートの結果

A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない E:わからない  
 【A+B 割合=A+B、CD 割合=C+D ただし、E=わからない を実数から引いた割合(%)で算出】

	アンケート項目	A+B 割合	C+D 割合
1	生徒は、学校に誇りを持ち、喜んで通学している。	80.9	19.1
2	学校生活において、生徒は互いに協力し、頑張っていることを認め合っている。	90.8	9.2
3	墨坂中学校は、命の大切さや仲間の大切さについてきちんと教えている。	88.2	11.8
4	先生方は、お互いに協力しながら、個々の生徒に合った適切な指導に当たっている。	84.7	15.3
5	先生方の声掛けや指導に対して、生徒もこれを素直に受け入れている。	85.5	14.5
6	墨坂中学校は、将来の生き方や進路について適切に指導している。	82.8	17.2
7	墨坂中学校の施設や環境は、教育環境にふさわしく管理されている。	95.2	4.8
8	3学年の2人担任制や1、2学年のローテーション担任制（一定期間、固定担任とローテ担任の2人が学級担任になる）が有効に機能している。	85.4	14.6
9	先生は、授業改善・学力向上に努めている。	82.1	17.9
10	授業が分かりやすく、生徒が楽しく学んでいる。	78.4	21.6
11	生徒は、復習や課題の提出など、家庭学習の習慣ができています。	72.1	27.9
12	墨坂中学校の生徒は、きちんとあいさつをすることができる。	83.3	16.7
13	学校や地域で見かける墨坂中学校の生徒は、マナーやルールを守って行動している。	86.7	13.3
14	生徒は、キャンプ、職場体験学習、修学旅行、文化祭などの行事を楽しみにしている	92.8	7.2
15	学校の教育方針や情報などが、学校だより、学年だより、学級だより等で保護者に分かりやすく伝えられている。	90.7	9.3
16	保護者は学校の授業参観、PTA活動等に積極的に参加している。	60.3	39.7
17	知りたいことや相談したいことがあったとき、気軽に学校へ連絡することができる。	74.3	25.7
18	学校の新型コロナウイルス感染拡大防止のための対応は適切に行われている。	90.8	9.2

### 1 保護者アンケートの概要

全18項目で評価を実施し、444家庭中372家庭からの回答をいただきました(回答率83.5%)。昨年度に引き続き、高い回答率となりました。ご協力ありがとうございました。

質問項目によって、多少のばらつきはありましたが、平均すると全体の12%近くが「わからない」という回答になりました。今後は、学校からの情報発信を、より一層充実させていくことを大きな課題と受け止めております。

「わからない」というご回答を除き、アンケートを集計してみると全体的に肯定的評価(A:そう思う B:どちらかと言えばそう思う の合計)の割合が高く、項目全体の平均は83%強(昨年82%)でした。

#### (1) 学校生活全般について

1~8の8項目の肯定的評価が86%(昨年85%)を超え、高い値となっています。しかし、「①生徒は、学校に誇りを持ち、喜んで通学している」の項目が80.9%(昨年81.7%)と【評価指標(自己更新力)】である85%に届きませんでした。今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学校の諸活動に制限があることの影響もあるかと思いますが、肯定的評価がされなかった19.1%の生徒とご家庭には特にしっかりと寄り添い、皆さんの声に耳を傾け、生徒の皆さんがより学校に来たいと思えるように教職員全体で改善をしていきたいと思っております。

